

外国人住民に聞いてみた

綾部で暮らし、働く外国人住民に、日々抱えている想いや暮らしについて伺いました。



チャン・クアン・ミンさん
ベトナム出身

日本が好きで、綾部に来ました。静かで落ち着いたところが気に入っています。来日したばかりで、今は一日でも早く仕事に慣れるように頑張っています。日本語が難しく悪戦苦闘していますが、早く覚えて地域の皆さんとも交流したいです。



ワイラ・ヒメナ・ペニア・フリオ・デサブハンさん
ボリビア出身

綾部の紅葉や花火が好きです。ボランティアの皆さんに親切にいただき、とても助かっています。これから日本語や日本料理を学び、日本人の皆さんともっと仲良くなりたいです。



市民100人に3人が外国人 地域産業の担い手に

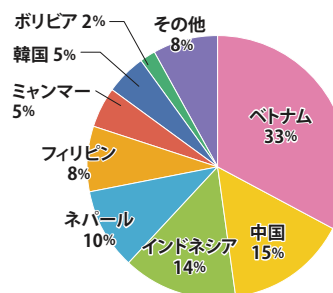
外国人住民は、仕事や学びが目的で来日。多くが市内の事業所に勤務し、綾部市の産業を支えています。中には家族で住んで、子育てをする人もいます。地域の一員として暮らしています。同じまちに住む仲間として、まずは、知ることから始めてみませんか。

綾部市で暮らす外国人は令和8年7月末現在1,073人で、10年前の平成28年と比べて716人増加①グラフ①。出身国では、ベトナムと中国、インドネシアで全体の半数以上を占め、次いでネパール、フィリピン②。順になっています②グラフ②。さらに、令和9年4月から外国人の育成就業制度の運用が開始されることから、今後増える予想されます。

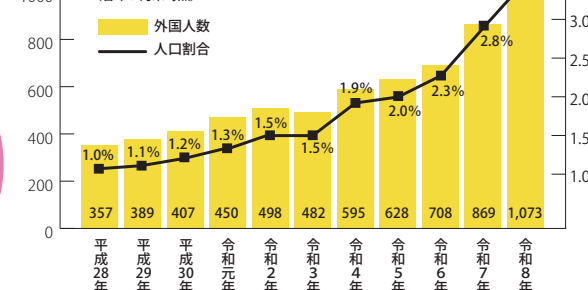
市内で外国人の姿を見かけることが多くなりました。綾部市の外国人住民は年々増加し、いまや私たちの身近な存在となっています。どのような人が暮らしているのか、市内で働く人を訪ねました。

10年で約3倍

グラフ② 出身国
(令和8年3月末)



グラフ①
外国人数と人口割合
(各年7月末時点)



綾部国際交流協会 (日本語交流会)

日本語を通して 深まる交流

綾部国際交流協会の日本語交流会は、地域で暮らす外国人の日本語学習をサポートしているほか、季節の行事などを通して交流を楽しんでいます。日本語レベルは人それぞれですが、参加者は楽しく日本語でコミュニケーションを取っています。協会では、外国人の増加に伴い、活動を支えるボランティアを募集中。特別な資格や外国語能力は必要ありません。「外国人と話してみたい」と思う人も、気軽に参加してみませんか。

活動日 毎週金曜日より午後7時～9時
場所 あやべ・日東精工アリーナ(市民センター、西町三丁目)



あやべ盆踊り大会に参加。8月15日、あやべグンゼスクエア(青野町)でー



10言語に対応! アプリで広報紙を配信中

市は、広報あやべ「ねっと」を、10言語に対応するアプリ「カタログポケット」で配信中。スマートフォンなどからいつでも無料で読めます。外国人住民の皆さんが安心して暮らせるよう、情報発信の充実に努めています。

ダウンロードはこちら



Android



iOS

市議会議員18人決まる

任期満了に伴う綾部市議会議員一般選挙が8月30日に行われ、18人の新議員が決定しました。

8月23日に告示された今回の選挙には、定数18を4人上回る22人が立候補（現職14人、新人8人）。現職13人、新人5人が当選しました。任期は9月1日から令和12年8月31日までの4年です。選挙翌日の31日には、当選証書付与式が行われ、新議員が市選挙管理委員会の中田誠治委員長から当選証書を受け取りました。

投票率は50.63%

投票は、市内40カ所の投票所で行われました。当日の有権者数は2万5509人、投票者数は1万2915人でした。

期日前投票は、市役所と上林いきいきセンター（八津合町）、西部いきいきセンター（物部町）の3カ所で行われ、投票者数は5831人で、前回の4767人を1064人上回りました。投票率は過去最低の50.63%で、前回の51.54%を0.91%下回りました。当選者は次の通りです（得票順、敬称略、年齢は投票日時時点、小数点以下の按分は切り捨て）。



中島 祐子
(50歳)
730票
有岡町
無現 当選3



吉崎 篤子
(77歳)
748票
岡町
共現 当選2



片岡 英晃
(43歳)
832票
広瀬町
無現 当選4



梅原 哲史
(58歳)
883票
中ノ町三丁目
無現 当選3



高橋 輝
(55歳)
912票
高津町
無現 当選6



渡辺 小百合
(57歳)
1057票
小呂町
公現 当選2



酒井 裕史
(55歳)
585票
上杉町
無現 当選3



小松 秀紀
(37歳)
621票
共新 当選1



本田 文夫
(73歳)
638票
志賀郷町
無現 当選3



塚崎 泰史
(51歳)
682票
寺町
共現 当選2



藤岡 栄
(66歳)
704票
青野町
無新 当選1



柳原 秀一
(69歳)
710票
物部町
無現 当選3



足立 輝希
(30歳)
429票
和木町
無新 当選1



神田 一之
(64歳)
432票
七百石町
無新 当選1



松本 幸子
(68歳)
432票
岡町
無現 当選4



藤岡 康治
(53歳)
497票
桜が丘一丁目
無現 当選3



横山 浩三
(37歳)
510票
上原町
無新 当選1



後藤 光
(52歳)
510票
位田町
無現 当選2

白寿の祝い 99歳おめでとうございます

「百」の字から「一」を取ると「白」の字になることから、

99歳は「白寿」と呼ばれています。

市は、年度内に白寿を迎える人へ記念品を贈呈し、長寿をお祝いをしています。

今年は男性12人、女性38人

敬老の日を前に、四方源太郎市長は9月1日、白寿を迎える3人を訪問。記念品を渡し長寿をお祝いました。本年度の対象は昭和2年4月2日から昭和3年4月1日までに生まれた男性12人、女性38人の計50人（9月1日現在）で、次の皆さんです（敬称略・順不同・掲載了解者のみ掲載）。

木村 清一さん
(中山町)

同じ敷地内で4世代でにぎやかに暮らしている木村さん。日課は新聞を読むこと。週に一度のデイサービスに通うのを楽しみにされています。



新田 優さん
(新庄町)

家族のために野菜を育てている新田さん。土作りから草刈りまでこなします。また、食欲も旺盛。魚料理をよく食べているそうです。



白波瀬 晃さん
(上杉町)

家族とブドウを育てているという白波瀬さん。暑い日は家の中で野球中継や昔の歌番組を楽しまれています。

山崎正治（故屋岡町）▽村山ハナ子（老富町）▽村上龍男（同）▽酒井聖義（同）▽野崎静子（西原町）▽木村清一（中山町）▽白波瀬晃（上杉町）▽磯井久枝（同）▽福田辻子（黒谷町）▽沖君江（七百石町）▽岡本仁（有岡町）▽高嶋重喜（桜が丘二丁目）▽梅原久江（若松町）▽尾池八重子（本町一丁目）▽北村定子（並松町）▽中山千鶴（田野町）▽岡井小繁（同）▽野々垣ハズエ（同）▽長島道乃（上延町）▽児玉愛子（高津町）▽梅原昭子（同）▽高橋さわ子（同）▽加藤千春（安場町）▽中越澄子（大島町）▽川北和子（栗町）▽芦田カズ（同）▽村上チトミ（同）▽森田淳子（大畠町）▽大根良三（小西町）▽塩見ゆきの（石原町）▽大根真砂（小畑町）▽栗下さちる（物部町）▽新田優（新庄町）▽四方とよの（志賀郷町）▽滝本はな（同）▽千原昭男（内久井町）

令和8年熊本地震の被災地支援 トイレトラックを初派遣



▲激励を受け熊本へ出発
(8月20日)

宇土市役所で、罹災証明書
の発行を支援 (8月25
~30日)



7月28日に発生した「令和8年熊本地震」を受け、綾部市ではトイレトラックと罹災証明書の発行支援に職員を派遣したほか▽市役所▽保健福祉センター▽あやテラス (図書館内)▽上林いきいきセンター▽市立病院一の5カ所で義援金の受け付けを実施 (8月末時点)。市は引き続き、被災地からの要請に可能な限り応じるとともに、被災地支援の経験を今後の災害対応に生かします。



▲宇城市内のコンビニエンスストア駐車場に車両を設置 (8月21日~)

▲10月30日まで義援金を受け付け

シリーズ 人権を考える

人権を考えるセミナー

7月28日に開催した第1回人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

母から娘へ そして、孫へ

いま、伝えたいこと

人権テイク・ルート代表 坂田かおりさん

当事者の思いに触れ 理解深める

被差別部落で生まれ育った講師の坂田さんは、子どもの誕生をきっかけに、同問題と堂々と向き合うことを決意。自身のルーツをわが子に伝え、現在は、社会から差別をなくそうと親子で活動しています。講演では、自身がこれまで受けた差別や相談の事例を交えながら語りました。

坂田さんは「差別には『暗い』『かわいそう』というイメージがあり、多くの人が『自分には関係ない』と思うことで、差別を他人事として捉えたり、無関心になったりしている」と指摘。「差別解消には、まず知ることが何よりも大切」とし、「被差別部落にルーツがある



講師の坂田さん

人など、さまざまな立場のマイノリティ (少数者) が自分らしく生きる姿に触れ、前向きな出会いを重ねて、人権への理解を深めてほしい」と話しました。
私たちは誰もが、出身やルーツ、病気・障害の有無などにかかわらず尊重される存在です。その認識の下、差別の問題を「自分事」として捉え、一人一人の人権を守るために何ができるのかを、社会全体で考えていく必要があります。

資料館だより

第27回 安国寺文書で見る 栄光と激動の時代

— 希代の英傑足利尊氏と安国寺 —

会期：10月1日(木)~11月29日(日)

※祝日除く月曜日休館

時間：午前9時~正午、午後1時~5時

場所：資料館 (里町)

関連イベント① 展示解説

日時：10月10日(土) 午前9時30分~ (1時間程度)

関連イベント② 展示解説・尊氏ゆかりの寺さんぽ

日時：11月7日(土) 午前9時30分資料館集合

行程：展示解説の後、各自で安国寺 (安国寺町) へ。

午前11時~正午、境内を散歩し解散

申し込み 11月5日(木) 午後5時まで

申し込みには、参加人数と代表者の▽氏名▽住所▽郵便番号▽メールアドレスが必要

<申し込み・問い合わせ>

社会教育課文化財担当 ☎(42)4328 資料館 ☎(43)1366

今月の手話 手話言語の国際デー



1【手話】

両手の人差し指の指先を内側に
して上下に置き、交互に回す



2【言語】

親指を曲げた手を
口元から前に出す



3【国際】

両手の親指と4指の指先を付けて輪を
つくり、前に半回転する



4【デー】

開いた両手を上下に
置き、順に指を折っ
て握る

動画で動きを
確認できます。
ぜひご覧ください。

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

うちに、MBTの推進者であった

6年前にこの研究の中心である梅田智広教授と会い、「ぜひ綾部市と連携して研究してほしい」とお願いしていました。コロナ禍の影響でなかなか進展させられない

が進められていました。

綾部市はこれまでに京都産業大学、京都工芸繊維大学、福知山公立大学と連携協定を結んでいましたが、今夏、新たに奈良県立医科大学、立命館大学とそれぞれ連携協定を締結しました。奈良県立医大は市町村と連携協定を結ぶこと自体が初めてです。奈良県立医大では、20年ほど前に「住居医学」という構想が始まり、それが進化して、現在では電子機器やAIなどの先端技術を駆使して高齢者等の見守りや遠隔医療に資する新しい仕組み「MBT (医学を基礎とするまちづくり)」の研究が進められています。

両大学との連携はスタートラインに就いたばかりですが、市民の皆さんにこの連携の成果をどう還元するか、「医学を基礎とした安心のまちづくり」「農工業ベンチャーの都」「教育環境日本一」といった綾部市が目指す「8つのチャレンジ」に役立てたいと考えています。

四方源太郎 (綾部市長)

源ちゃんコラム



前学長が今年3月に退任されました。綾部市との連携がどうなることかと少し心配しましたが、新任の嶋緑備学長は前学長にも増して非常にチャレンジ精神旺盛な方で、スムーズに連携協定の締結に至りました。

一方、立命館大学との連携は日東精工と立命館大学が昨年からのP F A Sに関する共同研究を始めたため、日東精工の荒賀誠社長からの紹介で三者による連携協定が成立しました。

協定締結式にお越しいただいた仲谷善雄学長は学校法人立命館の総長でもあり、立命館大学だけでなく、立命館アジア太平洋大学、立命館宇治高校、立命館高校、立命館中学校など全ての学校を統括されています。綾部市の子どもや綾部高校と立命館大学との間で、何か新しいことが始められないかと考えています。